

# 病院看護管理者のための看看連携体制の構築に向けた手引き—地域包括ケアを実現するために— 〈概要〉

## 1. 手引きについて — 地域包括ケア実現に向けた看看連携 —

### (1) 地域の関連機関間・職種間の連携体制の構築は、地域包括ケアを推進する上で重要

- ✓ 医療・生活支援を含む幅広い専門性を有する職種であり、多くの機関で活躍している看護職は、連携の中心となることが期待  
⇒ 地域の看護職同士の連携（看看連携）促進により、看護の質の向上や、他職種を含めた連携の促進が図られることで、地域全体のケアの質向上にもつながり得る
- ✓ 看看連携とは、地域の看護職同士が、対象者の生活を支えるために、同じ目標をもって、信頼しあい、対等の立場で協働すること

### (2) 本手引きの主な対象：地域医療の中核を担う病院（以下、中核病院）

- ✓ 本手引きでは、看看連携の中でも、特に地域の医療連携の中核を担う中核病院と地域の看護職が幅広く参加し、かつ看護の質向上に向けた取り組みを含む看看連携体制に着目し、実際の実践事例を通じた、看看連携の体制づくりのプロセスを提示する

### (3) 在宅医療提供体制において 病院看護職に求められる看看連携とは

- ① 退院支援：地域との入院時連携、訪問看護ステーションとの連携、施設入所者の入院に関する施設看護職との連携など
- ② 日常の療養支援：外来診療での重度化予防、地域の看護職との情報共有などによる連携、認定・専門看護師による地域への訪問など
- ③ 急変時の対応：緊急入院や認知症患者などへの対応、地域内の病院機能の把握と連携など
- ④ 看取り：終末期の症状緩和のための訪問看護や施設看護職との連携、意思決定支援や関係機関との情報共有、高齢者ケアや看取りについての市民への啓発の役割なども期待

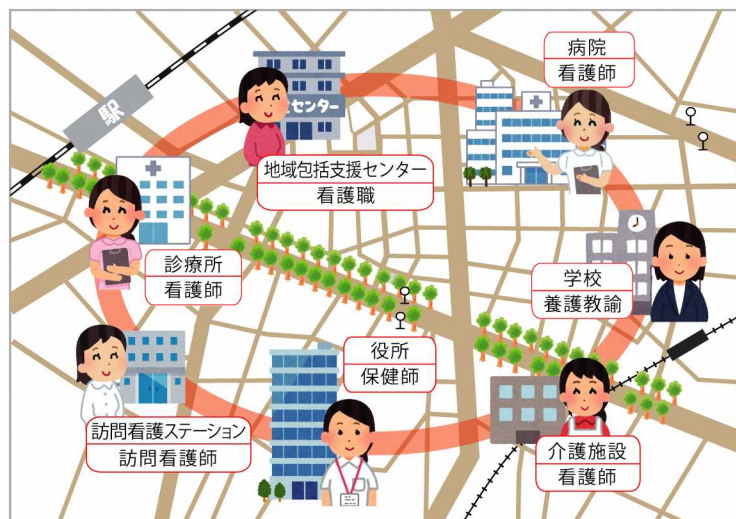


図1. 看看連携の担い手となる地域の看護職

## 2. 看看連携体制構築のプロセスと実践例

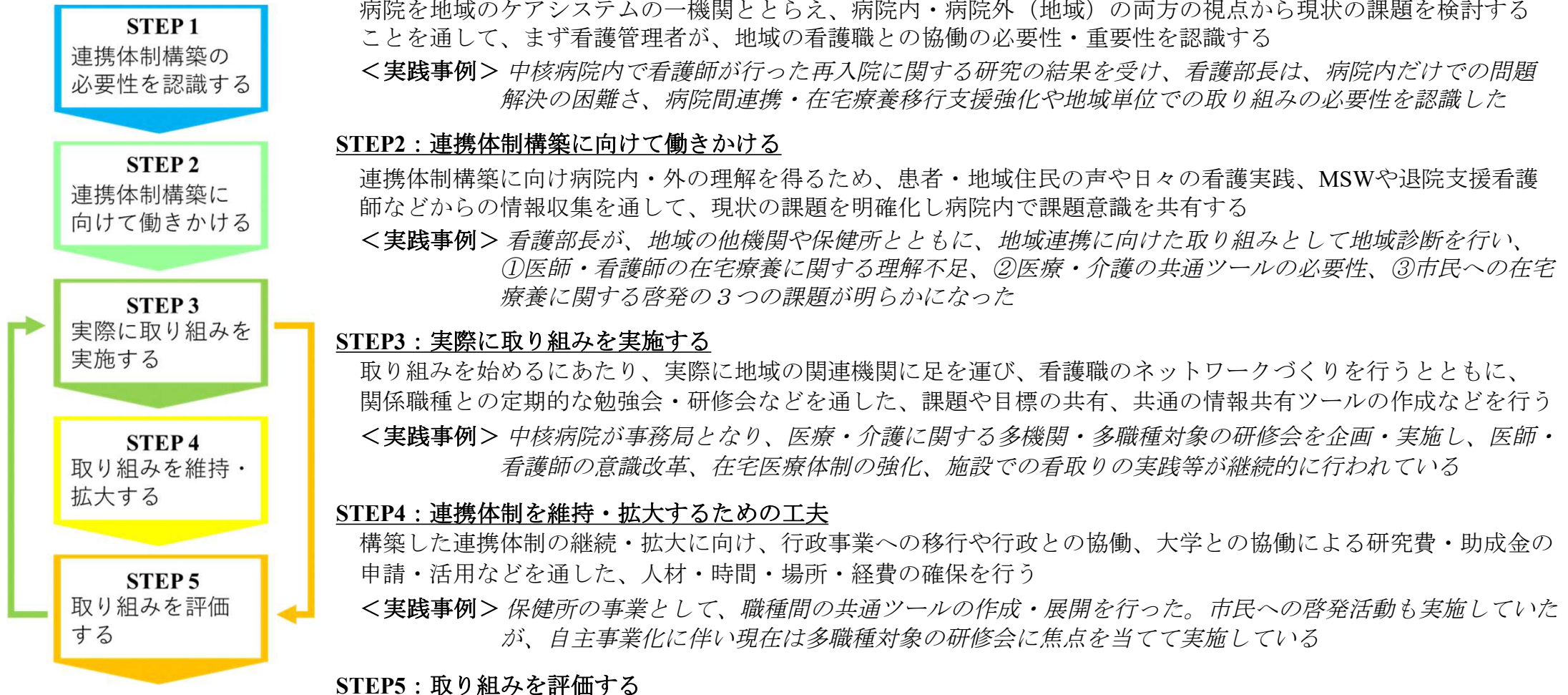


図2. 看看連携構築のプロセス